

平成28年度 第35回全国高校生建築製図コンクール結果報告

製図コンクール運営委員長 ト部 寿々子

第35回全国高校生建築製図コンクールには、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申しあげます。

〔I〕応募状況

1 応募校数

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校以外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27
53校	53校	50校	49校	3校	4校	48校	45校	3校	4校	2校	4校	0校	0校

2 応募作品数

課題名	加盟校別	回数	学校数・作品数		全日制・作品数		定時制・作品数	
課題1	加盟校	H28	43校	115点	41校	111点	2校	4点
		H27	42校	106点	38校	98点	4校	8点
	加盟校以外	H28	2校	6点	2校	6点	0校	0点
		H27	3校	8点	3校	8点	0校	0点
課題2	加盟校	H28	12校	29点	12校	29点	0校	0点
		H27	16校	40点	15校	38点	1校	2点
	加盟校以外	H28	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H27	2校	4点	2校	4点	0校	0点
課題3	加盟校	H28	26校	59点	24校	56点	2校	3点
		H27	21校	47点	19校	43点	2校	4点
	加盟校以外	H28	1校	1点	1校	1点	0校	0点
		H27	2校	3点	2校	3点	0校	0点
課題4	加盟校	H28	8校	18点	8校	18点	0校	0点
		H27	10校	19点	10校	19点	0校	0点
	加盟校以外	H28	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H27	1校	3点	1校	3点	0校	0点
課題5	加盟校	H28	8校	16点	8校	16点	0校	0点
		H27	5校	11点	5校	11点	0校	0点
	加盟校以外	H28	1校	3点	1校	3点	0校	0点
		H27	1校	2点	1校	2点	0校	0点
応募校計		H28	253点（加盟校 237点・加盟校以外 16点）					
		H27	243点（加盟校 223点・加盟校以外 20点）					

3 校内作品審査数の総計

		課題 1	課題 2	課題 3	課題 4	課題 5
加盟校	H28	1,227点	339点	670点	70点	22点
	H27	1,264点	466点	534点	50点	29点
加盟校 以外	H28	12点	3点	1点	5点	4点
	H27	48点	34点	3点	3点	2点
応募校計	H28	1,239点	342点	671点	75点	26点
	H27	1,312点	500点	537点	53点	31点

[Ⅱ] 入賞者

	賞	学校名	科名学年	生徒氏名
課題 1 : 軒先マワリ詳細図				
1	銀賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築デザイン系1年	鈴木 涼介
2	銅賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築デザイン系1年	金澤 加偉
3	銅賞	静岡県立浜松工業高等学校	建築科1年	太田 空
4	銅賞	群馬県立館林商工高等学校	建築科1年	富樫 健蔵
5	銅賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科1年	志水 厚太
6	入賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築デザイン系1年	櫻井 詞音
7	入賞	埼玉県立大宮工業高等学校	建築科1年	丸山 果萌
8	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築・土木科1年	山本 芽依
9	入賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科1年	関口 来夢
10	入賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科1年	大竹 汐音
11	入賞	静岡県立沼津工業高等学校 定時制	工業技術科2年	高木 陸
課題 2 : 木造平家建専用住宅				
1	金賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科2年	牧野 有華
2	銀賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科2年	水野 貴史
3	銀賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科2年	増田 葵
4	銅賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	遠藤 尚輝
5	銅賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科2年	川田 太郎
6	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科2年	加藤 智優
7	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科2年	宮川 大樹
8	入賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築デザイン科2年	岩井 真央里
9	入賞	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	金丸 梨瑚
10	入賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科2年	星野 健太

課題 3 : 木造 2 階建専用住宅				
1	金賞	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科 3 年	若井 春樹
2	銀賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科 3 年	鈴木 和哉
3	銀賞	新潟県立上越総合技術高等学校	建築・デザイン科 3 年	更科 華蓮
4	銅賞	新潟県立上越総合技術高等学校	建築・デザイン科 3 年	横田 真穂
5	入賞	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 3 年	金子 靖宏
6	入賞	宮城県石巻工業高等学校	建築科 2 年	佐々木 彩花
7	入賞	山梨県立富士北稜高等学校	建築デザイン系列 3 年	梶原 麻衣
8	入賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科 3 年	高山 夏生
9	入賞	愛知県立碧南工業高等学校	建築科 3 年	山中 明菜
10	入賞	東京都立墨田工業高等学校 定時制	総合技術科 3 年	眞坂 歩
課題 4 : 木造平家建専用住宅 (CAD 製図)				
1	金賞	松山聖陵高等学校	建築科 3 年	竹田 颯太
2	銀賞	愛知県立愛知工業高等学校	建設科 3 年	加藤 駿弥
3	銅賞	愛知県立愛知工業高等学校	建設科 3 年	金剛 悠斗
4	銅賞	愛知県立愛知工業高等学校	建設科 3 年	鈴木 健
5	銅賞	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	羽藤 潤
6	入賞	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築デザイン科 2 年	佐藤 諒
7	入賞	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	小山 勇人
課題 5 : 木造 2 階建専用住宅 (プレゼンテーション作品)				
1	金賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科 3 年	古田土 風太
2	銀賞	岐阜県立可児工業高等学校	建設工学科 3 年	鈴木 風樹
3	銀賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科 3 年	若目田 陽平
4	銅賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科 3 年	大島 優衣
5	銅賞	岐阜県立可児工業高等学校	建設工学科 3 年	中島 栞
6	銅賞	栃木県立真岡工業高等学校	建設科 3 年	秋山 侑紀
7	入賞	埼玉県立春日部工業高等学校	建築科 3 年	池田 茜
8	入賞	長野県飯田 OIDE 長姫高等学校	建築学科 3 年	恩田 裕歩
9	入賞	千葉県立市川工業高等学校	建築科 3 年	田中 琴音
10	入賞	松山聖陵高等学校	建築科 3 年	久保 慶祐

[Ⅲ] 審査

1 賞の選出

- (1) 各課題最高作品を金賞とし、順次銀賞銅賞入賞とする。
- (2) 各課題定時制課程参加作品から入賞以上を選出する。

2 審査方法

(1) 一次審査

- ア 審査は委員全員で行う。
- イ 原図を使用する。
- ウ 各課題参加数の1/5程度(最大20点程度)を目安に絞り、入賞作品の対象とする。
- エ 審査基準は、各課題の観点に従う。
- オ 作品を相対的に比較する。

(2) 二次審査

- ア 審査は委員全員で行う。
- イ 表題欄をカットする。
- ウ 複写図面を使用し、チェックを書き込む。
- エ 入賞作品以外の作品で再度入賞以上に該当するものがないか確認する。

(3) 最終決定

- ア 最終決定を投票で行う。

3 課題別審査の観点

(1) 課題1「軒先マワリ詳細図」

注意：最新版の教科書を用いているか。

- ア 図が正確に描かれているか。(部材の大きさや厚み・金物等の形状・部材相互の距離等)
- イ 明瞭な図であるか。(線の使い分け・線の始端から終端までが均一な太さ、濃さであるか)
- ウ 文字や数字は明瞭で正確であるか。(抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等)
- エ その他

松丸太に関して

- ・太鼓落しを表現する曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い。
- ※ただし曲線がフリーハンドで描かれていても失格ではない。

野縁に関して

- ・位置は軒桁中心から測られているか。

天井に関して

- ・位置が製図例2-6に基づいているか。

線の使い方に関して

- ・下書き線が濃すぎないか。
- ・仕上げ線(断面線)が極端に太すぎないか。

(2) 課題2「木造平家建専用住宅」

- ア 敷地の配置、外構計画に工夫があるか。
- イ 平面図は正確に描かれているか。(教科書第3章に準じているか)
- ウ 立面図に工夫があるか。(窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか)
- エ 断面図に工夫があるか。(屋根形状を生かした内部空間であるか)

- オ 屋根の形状に工夫があるか。(機能を果たす屋根の形状であるか)
- カ 図面相互に違いがないか。
- キ 明瞭な図であるか。(線の使い分けが正しいか)
- ク 製図規約を重視しているか。
- ケ その他

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・隣地境界線を実線で描く等、線の使い方を間違えていないか。
- ・床の仕上げを表現していないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。

立面図に関して

- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・平面図に記された切断線の位置との違いがないか。
- ・ロフトを計画した場合はそれを描いているか。
- ・ロフトの天井が極端に高くないか。

屋根伏図に関して

- ・水勾配や寸法が記入されているか。
- ・屋根仕上げに用いた材料名称が描かれているか。
- ・断面線の表示がされているか。

(3) 課題3「木造2階建専用住宅」

- ア 計画性を重視する。
- イ 配置・平面・立面・断面・外構の計画に工夫があり機能的であるか。
- ウ 構造的に無理がないか。
- エ 製図規約に配慮しているか。
- オ その他

設計主旨に関して

- ・主旨と計画に違いがないか。

配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・家族構成に対して、所要室や各室の面積に配慮しているか。
- ・将来的に高齢者に配慮した計画であるか。
- ・外構計画において高低差に配慮しているか。
- ・車と駐車スペースの大きさや表記方法に違いがないか。
- ・平面図に家具が記入されているか。
- ・平面図に柱や通し柱が抜けていないか。
- ・平面図に記された階段の段数は正確か。
- ・平面図に記された階段には、手すりを設けているか。

立面図に関して

- ・平面図との違いがないか。
- ・全体的なバランスが良いか。

断面図に関して

- ・切断位置が開口部を含む位置であるか。

- ・形状が不適切でないか。（異常に高すぎる，低すぎる）
- ・高さに関する寸法の記入があるか。

（４）課題４「木造平家建専用住宅」（ＣＡＤ製図）

注意：２枚提出されているか。（１枚しか提出されていない場合は失格とする）

- ア 敷地の形状や配置・外構計画に工夫があるか。
- イ 平面図は正確に描かれているか。（教科書第３章に準じているか）
- ウ 立面図に工夫があるか。（窓の形状や種類，位置等が平面図と異なっていないか）
- エ 断面図に工夫があるか。（屋根形状を生かした内部空間であるか）
- オ 屋根の形状に工夫があるか。（機能を充たす屋根の形状であるか）
- カ 図面相互に違いがないか。
- キ 明瞭な図であるか。（線の使い分けが正しいか）
- ク 製図規約を重視しているか。
- ケ その他
 - ・ロフトを計画した場合は，それを平面図や断面図等に描いているか。
 - ・手書き表現で描かれているか。（ＣＡＤ特有の表現のままでないか）

（５）課題５「木造２階建専用住宅」（プレゼンテーション作品）

注意：２枚提出されているか。（１枚しか提出されていない場合は失格とする）

- ア プレゼンテーション・表現を重視する。（プレゼンテーションと作りだされている作品が一致しているか）
 - ・パース，模型，説明，着色等で判断する。
- イ 製図規約については重視しない。
- ウ その他
 - ・計画や表現はオリジナリティがあるか。
 - ・各図面間での整合性はあるか。
 - ・縮尺については重視しない。
 - ・表面に氏名等を記入しない。

[IV] 審査講評

<p>課題1 軒先マワリ詳細図</p> <p>金賞図面は、残念ながらありませんでした。総合的にバランスのとれた正確で美しい作品が見受けられず、あともう一步という作品ばかりでした。</p> <p>金賞以外の図面についても、線にメリハリがあり、美しく丁寧に描かれている作品もありましたが、基本的な寸法の正確さに欠けている図面や、線の使い分けが少々過剰な図面がありました。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>次年度は、基本寸法の正確な取り方を習得し、図面をきれいに美しく仕上げるための努力をしてください。また、引き出し線の角度をそろえたり線の納まりを揃えたりと、小さなことにも気を配れるように努力してください。</p>
<p>課題2 木造平家建専用住宅</p> <p>金賞図面は、全体的に和風に仕上げられており、全てにおいてミスマッチがなく、非常にまとまっている作品であり作図力が高い作品でした。ただ、若干、屋外階段の部分の整合性がとれていないのではないかと感じとれる部分がありました。</p> <p>金賞以外の図面についても、作図力が高く、立・断面図が丁寧に描かれている作品もある一方で、柱に記載漏れや、高さ関係に無理が生じている作品も見受けられました。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>次年度は、シンプルな屋根形状にもチャレンジし、基本的な作図力の向上を期待します。</p>
<p>課題3 木造2階建専用住宅</p> <p>金賞図面は、全体的に作図力が高く、住まう人の目線等もよく考えられた意図のある高低差の使い方をしている素晴らしい作品でした。</p> <p>金賞以外の作品についても、表現力が高く、丁寧に図面を描き図面が生きているような作品も見受けられた。一方で、通し柱や屋根仕上げ材等の書き漏れも多く見られ、非常に残念であった。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>次年度は、基本的な作図力の向上や、計画性を重視した表現力の高い作品を期待します。</p>
<p>課題4 木造平家建専用住宅（CAD製図）</p> <p>金賞図面は、屋上やロフトがない計画で成立しており、奇をてらわず作図されている作品でした。また丁寧にコツコツと時間をかけて仕上げた様子が見え、CADの特性を十分に活かしている作品です。</p> <p>金賞以外の図面についても、高齢者に配慮された計画や、線種を上手に使い分けている作品も多く見受けられた一方で、何も計画されていない図面や、断面線が壁を横切っていたり、外を見せていたり、作図の知識が欠けている作品も見受けられました。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>次年度は、構造や高さ関係などの基本的な作図を心掛け、シンプルかつ王道の作品を期待します。</p>
<p>課題5 木造2階建専用住宅（プレゼンテーション作品）</p> <p>金賞図面は、模型が丁寧に作られおり、和をイメージした藍色の配色など工夫が見られ、表現力に優れたプレゼンテーション作品でした。</p> <p>金賞以外の図面についても、計画性があり丁寧に表現されている作品や、全体的にまとめられている作品が見受けられました。</p> <p>【アドバイス】</p> <p>次年度は、テーマに沿ったプランを自由に考え、レイアウトや配色等にも少しこだわり、オリジナル溢れるプレゼンテーション作品を期待します。</p>

[V] 平成29年度に向けて

- 1 課題1 軒先マワリ詳細図
平成28年度 新課程版教科書発刊に伴う、製図例の変更。
平成29年度 例年通りとする。

- 2 課題2 木造平家建専用住宅
平成28年度 新課程版教科書発刊に伴う、製図例の変更。図面に一部変更有り。
平成29年度 例年通りとする。

- 3 課題3 木造2階建専用住宅
平成28年度 法規・構造に配慮した、個性的な作品を期待する。
平成29年度 例年通りとする。

- 4 課題4 木造平家建専用住宅（CAD製図）
平成28年度 課題2を手書きの表現で作図するCAD製図。図面に一部変更有り。
平成29年度 例年通りとする。

- 5 課題5 木造2階建専用住宅（プレゼンテーション作品）
平成28年度 プレゼンテーションを重視した作品。
平成29年度 例年通りとする。

- 6 共通事項 課題1～課題4の表題欄に課題番号を記入する。

今年度も審査講評を参考にいただき、ご応募くださるようお願い申し上げます。なお、ホームページに各課題の金賞作品を記載しております。

製図コンクール運営委員

佐藤 康雄 (神奈川工定)	高野 史晃 (真岡工)	
(製図分科会) 笹崎 ひろみ (墨田工)	村井 和幸 (上越総合)	中曽根 康 (高崎工)
(計画分科会) 荒木 宏道 (館林商工)	畠山 弘幸 (石巻工)	
田村 雄志 (川崎総合科学)		
(法規分科会) 萱沼 俊一 (宮城県工)	根岸 俊行 (館林商工)	
(構造分科会) 鈴木 隆 (田無工)	青柳 昭 (市川工)	
(施工分科会) 吉村 公利 (大宮工)	平柳 政幸 (日工大駒場)	

平成29年4月3日
製図コンクール運営委員長
ト部 寿々子